

《第 65 号》***国立国会図書館デジタル化資料送信サービス***

本学では、平成 27 年度より国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスに参加しています。国立国会図書館がデジタル化した「国立国会図書館デジタルコレクション」のうち絶版等の理由で入手困難な資料について、デジタル画像の送信により館内で閲覧・複写ができるサービスです。本学以外にも、国立国会図書館が承認した公共図書館、大学図書館等の館内で利用できます。著作権保護期間が満了した資料、著作権者の許諾を得た資料は、本文の画像が Web 上で公開されています。元々は資料を後世に残すための「保存」目的でのデジタル化ですが、それにより国内各地での遠隔利用が可能になったことは、大きな副産物と言えます。

平成 29 年 1 月時点で利用できる資料は、昭和 43 年までに受け入れた図書、震災・災害関係資料 55 万点、明治期以降の貴重書や清代後期以降の漢籍等の古典籍 2 万点、明治期以降に発行された雑誌 80 万点、平成 3-12 年度に送付された学位論文 12 万点、昭和 55 年以前の放送脚本 32 点など 149 万点余りとなっています。利用可能リストは、毎年 1 月と 7 月に更新されます。

資料はインターネットを通じてどこからでも検索できますが、閲覧は図書館施設内の指定された端末に限られます。本学では、本館 3 階の文献検索用端末で閲覧が可能です。サービス対象となる資料は、国立国会図書館デジタルコレクションで検索すると、検索結果一覧では「国立国会図書館／図書館送信限定」、コンテンツ閲覧画面中の「公開範囲」には「国立国会図書館／図書館送信参加館内公開」と表示されます。

画像の印刷は、図書館間相互貸借における複写物取寄せと同様の扱いになります。希望する場合は、本館の端末で印刷箇所(資料名やコマ番号)を特定した上で、運用カウンターにお申し込みください。職員が著作権法で認められた範囲内の複写であることを確認し、印刷を行います。画像の複製は印刷のみで、電子ファイルで入手することはできません。

国立国会図書館デジタルコレクションは、図書、雑誌の他、音源や古典籍等を含め総数 250 万点以上あり、その中の 4 割が送信サービスの対象です。来館しての利用に限られますが、国立国会図書館まで出向いていたことを考えると、格段に便利になりました。

図書館トリビア

国会図書館デジタルコレクションには多岐にわたる資料が収録されていますが、その中でも古典籍や官報などの公報は、参考調査などでよく利用します。

昭和 22 年 7 月 10 日の官報 6145 号には、文部省告示第百八号として本学の設立認可が告示されています。その他、お馴染みの医学中央雑誌も初号から閲覧可能(医中誌 Web へは昭和 45 年以降掲載 :平成 29 年 3 月現在)となっています。

メールマガジンに関するご意見・ご質問は、図書館 tosho@j.iwate-med.ac.jp まで。

<編集・発行> 岩手医科大学附属図書館